

昭島市 高齢者福祉一般施策

令和6年度 第1回 昭島市介護保険推進協議会資料

令和6年11月
昭 島 市

目 次

1. 高齢者日常生活用具給付事業	1
2. 高齢者寝具乾燥消毒サービス事業	1
3. 高齢者救急通報システム事業	1
4. 高齢者住宅火災通報システム事業	2
5. 食事サービス事業	2
6. 高齢者住宅改造費助成事業	2
7. 高齢者電話訪問相談事業	3
8. 高齢者各種教室事業	3
9. 高齢者生活支援ショートステイ事業	3
10. シルバーゆうゆう事業	4
11. 高齢者紙おむつ購入費助成事業	4
12. 救急医療情報キット配布事業	4
13. 認知症高齢者等探索サービス事業	5
14. 認知症検診事業	5
15. 認知症高齢者等個人賠償補償事業	5
16. 認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業	6
17. 在宅療養推進事業	6
18. 家族介護慰労事業	6
19. 老人クラブ補助事業	6
20. 敬老金支給事業	7
21. 敬老大会事業	7
22. 特別養護老人ホームベッド確保事業	7
23. 新型コロナウイルス感染症対策事業	8

高齢者福祉 一般施策（利用状況等の推移）

1. 高齢者日常生活用具給付事業

① 事業概要

市内に住所を有する65歳以上の高齢者で、日常生活の動作に困難があり、在宅での生活を確保するために日常生活用具を必要としている介護保険で非該当と認定された人に対し、歩行支援用具、スロープ、入浴補助用具、歩行補助車、腰掛け便座を給付する（器具によって給付限度額がある。）。対象者1人に対する1年度内の給付限度額は10万円。

② 対象者

概ね65歳以上の高齢者で、介護保険で非該当と認定された者で、用具の給付が必要と認められる者

区分 年度	歩行支援 用具	スロープ	腰掛け便座	入浴補助 用具	歩行 補助車	決算額
R1	0	0	0	1	0	54,648円
R2	0	0	0	0	0	0円
R3	0	0	0	0	0	0円
R4	0	0	0	0	1	21,780円
R5	0	0	0	0	0	0円

2. 高齢者寝具乾燥消毒サービス事業

① 事業概要

市内に居住する在宅の寝たきり及びひとり暮らしの高齢者が、常時使用している寝具を、1名について4枚（掛布団・敷布団・毛布・その他）を1組標準として、乾燥を年11回、丸洗いを年1回行う。

② 対象者

在宅の寝たきり及びひとり暮らしの概ね65歳以上の高齢者で、身体上又は精神上障害があるために寝具の自然乾燥ができない者

区分 年度	利用 実人員	利用延べ人 数	決算額
R1	37	251	1,242,650円
R2	35	314	1,687,950円
R3	48	351	2,062,280円
R4	52	389	2,369,400円
R5	54	415	2,628,670円

3. 高齢者救急通報システム事業（旧高齢者緊急通報システム事業）

① 事業概要

在宅高齢者が急病等の緊急事態に陥ったときに、通報機器によって通報すると、東京消防庁内に設置された緊急通報受信室に通報され、緊急通報協力員及び救急車等の出動等の援助を得て救助を行う。平成15年度から既存の消防庁方式に加え、協力員が不要な民間（警備会社）の緊急通報システムを導入。

② 対象者

65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯であって、身体上の慢性疾患があり、日常生活を営むうえで常時注意を要する状態にある者

区分 年度	設置 台数	緊急通 報回数	決算額
R1	57	37	1,657,081円
R2	53	16	1,701,279円
R3	51	42	1,537,464円
R4	51	24	1,686,370円
R5	57	30	1,794,937円

4. 高齢者住宅火災通報システム事業

① 事業概要

心身機能の低下や居住環境から防火の配慮が必要な高齢者に対して、家庭内での火災による緊急事態に備えて住宅用防災機器及び日常生活用具を給付・貸与し、消防署への自動通報をすることにより、日常生活の安全を確保する。

② 対象者

火災警報器	概ね65歳以上の寝たきり高齢者及び一人暮らし高齢者等
自動消火装置	
ガス安全システム	概ね65歳以上であって心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な一人暮らし高齢者等
電磁調理器	

区分 年度	火災通報 機器一式	火災 警報器	自動消火 装置	ガス安全 システム	電磁調理器	決算額
R1	0	0	0	0	0	0円
R2	0	0	0	0	4	49,680円
R3	0	0	0	0	3	31,770円
R4	0	0	0	0	3	22,110円
R5	0	0	0	0	5	38,610円

5. 食事サービス事業

① 事業概要

70歳以上の人暮らし又は高齢者のみの世帯で、身体的又は精神的機能の低下により炊事が困難な状態にある高齢者に対して、定期的に配食サービスを実施することにより、高齢者の健康保持に寄与するとともに、安否確認を行うことにより高齢者福祉の向上に寄与する。市内の老人福祉施設が調理した昼食を、週5回を限度に利用者の自宅に配食する。社会福祉協議会に業務委託し、社会福祉協議会が受付等を行い、配食等は市内の高齢者施設に再委託して実施。

② 対象者

70歳以上の要介護度1以上の単身高齢者または高齢者のみ世帯で、炊事が困難な状態にある者

区分 年度	利用者数	配食数		決算額
		月平均	年間	
R1	82	924	11,083	4,863,455円
R2	90	1,144	13,730	5,989,624円
R3	113	1,331	15,977	6,871,157円
R4	125	1,361	16,342	7,037,508円
R5	95	1,038	12,453	7,661,563円

6. 高齢者住宅改造費助成事業

① 事業概要

市内に住所を有する在宅の高齢者又は、高齢者と同居している世帯に対し、転倒等を防止、動作の容易性の確保、介護の軽減を図るため、その者の居住する住宅を改修することにより、在宅生活の継続を図る。住宅改修予防給付（要介護認定非該当者）と住宅設備改修給付があり、給付限度内で助成する。

② 対象者

概ね65歳以上の高齢者で、日常生活動作の低下により、住宅の改修が必要と認められる者

区分 年度	住宅改修予 防給付	住宅設備改修給付			決算額
		浴槽	流し台	便器	
R1	1	13	12	0	3,841,011円
R2	1	12	10	0	3,242,950円
R3	1	5	5	0	1,341,177円
R4	2	8	6	0	2,284,341円
R5	0	7	6	1	1,787,017円

7. 高齢者電話訪問相談事業

① 事業概要

週1回程度、登録のある高齢者に対し電話による友愛訪問を行うことで、日常生活における不安などを各種相談を受けるとともに、安否の確認と孤独感の解消を図る。

② 対象者

65歳以上の在宅高齢者で一人暮らし及び高齢者のみの世帯の者

区分 年度	相談 員数	電話相談 利用者数	相談 回数	決算額
R1	3	19	週1回	108,000円
R2	3	18	週1回	108,000円
R3	3	21	週1回	108,000円
R4	3	21	週1回	105,000円
R5	3	26	週1回	108,000円

8. 高齢者各種教室事業

① 事業概要

健康な高齢者に対し、市内の公共施設において、手先や体を動かしたり頭を使ったりする各種教室を実施し、高齢者の介護予防や健康増進を図る。

② 対象者

65歳以上の健康な高齢者

教室 内容	軽体操・ウォーキング・書道教室・フラダンス・絵手紙・栄養(調理)・消しゴムはんこ・健康スポーツ吹き矢・インターネット教室・陶芸・着付け・脳のトレーニング・英会話・カラオケ・健康気功・太極拳・口腔ケア
----------	---

区分 年度	実施 回数	参加 者数	決算額
R1	70	1,379	8,423,463円
R2	47	677	7,232,615円
R3	68	989	7,134,584円
R4	64	971	8,690,655円
R5	68	1,083	7,911,831円

9. 高齢者生活支援ショートステイ事業

① 事業概要

一時的に在宅生活が困難な高齢者を施設において短期間保護する。

② 対象者

昭島市内に居住する65歳以上の者で、一時的に在宅生活が困難であると認められ、介護保険法に基づく要介護・要支援認定を受けていない者

区分 年度	利用者数	利用日数	単価	決算額
R1	0	0	8,600	0円
R2	0	0	8,600	0円
R3	0	0	8,600	0円
R4	0	0	8,600	0円
R5	0	0	8,600	0円

10. シルバーゆうゆう事業

① 事業概要

65歳以上の高齢者に対して、地域社会との交流の促進及び元気回復を目的として、市内にある公衆浴場（三光湯、昭和湯、富士見湯）を原則として毎週水曜日と土曜日の2回、営業開始時間から2時間以内に入浴した場合、入浴料金が軽減される。

② 対象者

65歳以上の高齢者

区分 年度	助成 件数	助成額 (円)	利用者数	
			男	女
R1	24,234	7,270,200	12,413人	11,821人
R2	24,915	7,474,500	12,761人	12,154人
R3	27,263	8,178,900	14,312人	12,951人
R4	27,606	8,281,800	14,634人	12,972人
R5	27,545	11,018,000	14,779人	12,766人

11. 高齢者紙おむつ購入費助成事業

① 事業概要

家族介護負担を軽減するため、在宅の寝たきり高齢者に紙おむつを支給する。支給限度額を8,000円とし、利用者は1割を負担する。

② 対象者

紙おむつを常時必要とする、要介護度が3以上と認定された者

区分 年度	給付 件数	助成額
R1	5,836	31,501,305円
R2	5,830	32,481,109円
R3	6,024	32,962,830円
R4	6,226	35,624,661円
R5	5,878	35,728,607円

12. 救急医療情報キット配布事業

① 事業概要

65歳以上の単身及び高齢者世帯の方へ、緊急搬送時に救急隊へ医療情報を提供するための、救急医療情報キットを配布。

② 対象者

65歳以上の人暮らしまだは高齢者のみの世帯

区分 年度	給付 件数	決算額
R1	176	65,103円
R2	145	66,000円
R3	112	62,791円
R4	154	59,374円
R5	441	289,142円

13. 認知症高齢者等探索サービス事業(旧シルバーファミリーほっとライン事業)

① 事業概要

徘徊行動のある認知症高齢者の介護者に、認知症高齢者探索のための簡易型携帯端末（GPS）を貸与することにより、認知症高齢者の安全を確保するとともに、当該認知症高齢者の介護者の負担を軽減する。

② 対象者

40歳以上の徘徊行動のある認知症高齢者を介護する者（人工ペースメーカーを装着している徘徊高齢者の介護者は除く）

区分 年度	利用者数			位置情報 提供回数	決算額
	新規	廃止	年度末		
R1	5	4	8	326	10,800円
R2	1	1	8	69	5,500円
R3	2	5	5	104	2,750円
R4	2	4	3	26	5,500円
R5	0	0	3	15	0円

14. 認知症検診事業

① 事業概要

認知症は高齢化に伴い発症する病気であるため、認知症の検診を行うことにより、早期診断・対応を促進する。

② 対象者

昭島市内に住所を有し、かつ、次の各号のいずれかも該当する者
ア 65歳以上の者で、セルフチェックリストを実施した者
イ 要介護（要支援）認定を受けていない者
ウ 認知症の診断を受けた者
エ 前年度に検診を受けた者

区分 年度	件数	決算額
R2	16	2,312,766円
R3	29	3,305,659円
R4	17	3,662,019円
R5	136	4,164,622円

※令和2年10月から事業実施

15. 認知症高齢者等個人賠償補償事業

① 事業概要

認知症及びその疑いのある方が、日常生活における偶然の事故により第三者の身体及び財物に損害を与え、法律上の賠償責任を負うことに対しての支援を促進するとともに、認知症高齢者等及びその家族が安心して日常生活を送るための支援を行う。

② 対象者

昭島市認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業に登録のある者であって、次の各号のいずれかに該当する者

ア 昭島市認知症高齢者等探索サービス事業に登録のある者
イ 次のいずれにも該当する者
a 昭島市内に住所を有する認知症高齢者等
b 在宅生活をしており、認知症対応型共同生活介護を利用していない者

区分 年度	登録者数	決算額
R3	76	110,460円
R4	113	158,780円
R5	129	197,090円

※令和3年6月から事業実施

16. 認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業

① 事業概要

認知症高齢者等が行方不明となった場合にこれを早期に発見・身元確認・保護することができるよう、市が関係機関等と連携して行う事業。事前に登録を希望する対象者の情報（氏名・性別・住所・生年月日・身長・同居家族・全身及び顔が分かる写真）を市・昭島警察署・昭島市地域包括支援センターで共有する。

② 対象者

昭島市内に住所を有し、かつ、認知症である者又は認知症の疑いのある者（これに準ずると市長が認めた者を含む）

年度	R4	R5
登録者数	68	98

17. 在宅療養推進事業

① 事業概要

市民が住み慣れた地域において安心して在宅療養するために、情報通信技術を活用し、市内の医療・介護機関が連携して在宅療養にあたる際、ICTツールの活用により情報共有を図ることで、効率的かつ効果的な支援を行う。

② 対象者

市内の医療・介護機関が利用するICTツールを導入し、運営する市内の公益法人（昭島市医師会）

区分 年度	利用者 (患者)	主治医	介護支援 専門員	サービス 提供事業所	決算額
R1	27名	5名	17名	53事業所	3,593,000円
R2	22名	5名	12名	42事業所	5,203,000円
R3	19名	4名	7名	38事業所	4,092,000円
R4	17名	3名	5名	35事業所	3,294,000円
R5	15名	3名	7名	15事業所	2,554,000円

18. 家族介護慰労事業

① 事業概要

在宅の要介護高齢者の介護者に対し、家族介護慰労金を支給することにより、介護者の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し高齢者福祉の向上を図る。H25年度から介護保険任意事業に移行。

② 対象者

次に掲げる要件に該当する要介護高齢者の介護者

- ア 介護する高齢者の介護度が4又は5であること
- イ 介護する高齢者が1年間介護保険等サービスを受けていないこと
- ウ 介護者及び要介護高齢者が、要件期間中において市民税が非課税であること

年 度	金額(円)	対 象 者	支 給 額
R1	100,000	2	200,000円
R2	100,000	2	200,000円
R3	100,000	1	100,000円
R4	100,000	0	0円
R5	100,000	2	200,000円

19. 老人クラブ補助事業

① 事業概要

地域の老人が老後の生活を健全で明るいものにするため、自主的にクラブを組織し、クラブ活動を通じて老人福祉の増進を図るために、補助金を交付し、活動の助成と育成を図る。

② 対象者

助成の対象とするクラブは、概ね60歳以上の者を構成員とし、常時参加者が概ね50人以上のもとの及びその連合会

区分 年度	連合 会数	会員数	会員数別単位クラブ数					助成額
			80人以下	81人以上 100人以下	101人以上 120人以下	121人以上	合 計	
R1	1	3,820	43	3	2	4	52	17,792,000円
R2	1	3,823	43	4	2	4	53	16,639,559円
R3	1	3,587	44	4	1	3	52	16,297,291円
R4	1	3,425	45	3	1	3	52	16,397,000円
R5	1	3,365	44	3	1	3	51	16,121,000円

20. 敬老金支給事業

① 事業概要

敬老の意を表し、長寿を祝い、併せて福祉の増進を図る。

② 対象者

毎年9月15日において、77・88・99歳の高齢者に支給する。

年 度	区 分	支 給 額	人 数	支給額計
R1	77歳	5,000	1,271	6,355,000円
	88歳	10,000	471	4,710,000円
	99歳	10,000	38	380,000円
	計		1,780	11,445,000円
R2	77歳	5,000	1,178	5,890,000円
	88歳	10,000	455	4,550,000円
	99歳	10,000	39	390,000円
	計		1,672	10,830,000円
R3	77歳	5,000	1,232	6,160,000円
	88歳	10,000	492	4,920,000円
	99歳	10,000	32	320,000円
	計		1,756	11,400,000円
R4	77歳	5,000	1,018	5,090,000円
	88歳	10,000	508	5,080,000円
	99歳	10,000	30	300,000円
	計		1,556	10,470,000円
R5	77歳	5,000	923	4,615,000円
	88歳	10,000	516	5,160,000円
	99歳	10,000	33	330,000円
	計		1,472	10,105,000円

21. 敬老大会事業

① 事業概要

多年にわたり社会の進展に寄与し、かつ、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛し、ひろく市民が高齢者の福祉についての関心と理解を深め、高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高めるよう敬老大会を実施する。また、令和2年度より事業規模を縮小し、米寿（88歳）を祝う会として実施している。

区分 年度	会場	開催日	延べ参加 者数	内 容	決算額
R1	市民 会館	9月16日	3,000	式典・コンサート 芸能	2,460,249円
R2		9月20日	149		1,737,461円
R3		9月20日	151		1,905,962円
R4		9月19日	121		2,027,248円
R5		9月18日	196		2,195,536円

22. 特別養護老人ホーム建設費補助事業

① 事業概要

増大する介護需要に対応するため、特別養護老人ホーム施設建設（建替え）に伴う建設費借入金の償還に対し、その一部を補助する。

施 設 名	期 間	補 助 額
フジホーム	H14～R3(20年間)	285,000千円(14,250千円／年)
ハピネス昭和の森	H27～R16(20年間)	310,000千円(15,500千円／年)

23. 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 在宅要介護者受入体制整備事業

① 事業概要

在宅で高齢者を介護する家族等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に、ホームヘルプサービスの利用ができるよう感染予防物品の購入及び利用料の補助を実施する。

② 対象者

本人又は同居の家族が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合などにおいて、現に利用していた在宅サービス等に代えて代替サービスを自己の負担において緊急に利用することとなった者

区分 年度	補助回数	決算額
R3	2回	20,000円
R4	0回	0円
R5	0回	0円

(2) 介護従事者等及び事業所支援事業

① 事業概要

感染対策に係る経費及び物価高騰に影響を受けている介護分野の事業所・施設及びその職員の支援を目的として、給付金等を支給する。

② 対象者

介護サービスを提供する事業所・施設及びその職員

区分 年度	対象	決算額	備考
R2	2,327人	23,320,000円	介護事業所等の従事者に慰労金を支給 (住民主体型サービス従事者5人分を含む)
	131事業所	11,610,000円	介護事業所等に感染予防物品等の購入費を補助
R3	138事業所・9施設	16,500,000円	介護事業所等に給付金を支給
R4	140事業所・9施設	19,500,000円	介護事業所等に物価高騰対策支援給付金を支給
	140事業所	16,800,000円	介護事業所に物価高騰対策支援給付金を支給

(3) 高齢者見守り支援配食サービス事業

① 事業概要

75歳以上の高齢者にお弁当を無料配達することで、コロナ禍において自粛生活が続くなかでも気分転換を図っていただくとともに安否確認等を実施する。

② 対象者

75歳以上の高齢者

区分 年度	実施件数	決算額
R2	9,535件	20,400,399円

(4) 高齢者応援事業

① 事業概要

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置に伴い経済的な負担を受けている高齢者に対する生活支援を目的として3,000円分のプリペイド型商品券を配付する。

② 対象者

65歳以上の高齢者

区分 年度	配付者数	決算額
R3	30,794人	101,573,492円